

校内研修計画

甲州市立大和中学校

1 学校課題

本校は全校生徒28名の小規模校であるため、「目が行き届き、細やかな指導ができる」こと、「学年・性別関係なく仲が良い」こと、「全員役割を担うことで活躍の場が与えられる」などの利点がある。しかし、少人数であるがゆえに「人間関係の固定化」や「コミュニケーション能力の不足」「多種多様な意見に触れる機会が少ない」など課題点もみられる。

2. 研究主題

主体的に学ぶ生徒の育成

副題

～ 地域や学校の特色を活かした効果的な学び ～

3. 主題設定の理由

本校は、昨年度から「少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育推進事業」と「学校運営協議会の設置・拡充に向けた調査研究事業」の研究指定を受けており、今年度はその2年目にあたる。小規模校の特色や環境を活かした教育を目指し、先進的ICT環境を整え、地域活性化の取組、学校連携ネットワークの構築及び交流、同期型CSCL授業の開発などの研究を進めている。またコミュニティ・スクールの導入は、地域の人的・物的資源を活用し社会と目標を共有・連携しながら、共同して生徒たちの育成を目指すものである。

本校のある大和地域は、以前より学校と地域のつながりが密である。地域の伝承芸能である「巫女の舞」や、信玄公祭り、勝頼公祭りなどの行事への参加がよい例である。また、豊かな自然や歴史的・文化的にも魅力ある地域であるといえる。今回の指定を受け、2年目となる今年度は、地域について学ぶことに加え、積極的に地域に出ていきその中で地域の方々と共に活動し関わり合うことで、学習をより一層深めていきたい。

以上のことから、今年度は少人数ならではの授業の工夫とICTを活用した様々な交流や、地域とのかかわりを通して「生きる力」を育てるための研究を進めていきたい。

3. 具体的な研究内容

1) 地域資源を活用した授業づくり

- ・地域と結びつく（学校運営協議会の設置） ・地域の力を活用する（人材活用）
- ・地域から学び、地域人としての誇りを持つ（地域学習）

2) 少人数であることを活かした学習活動の工夫

- ・ICT機器の有効な活用方法や指導法の研究・検証 ・一人一実践
- ・TV会議システムを活用した交流授業の研究 ・大和Pの継続研究

3) 甲州市「確かな学力」育成プロジェクトと連携した学力の向上

- ・甲州市「ティーチャーズ・ノート」を基盤とした授業づくり
- ・Q-Uの分析をもとにした学級づくり ・地域・保護者との連携

大和中年間校内研修計画

研究主任 前島 香織

回	研究内容	担当	日	T C
1	昨年度までの校内研究について	研究	4月 3日	
2	今年度の研究について（主題・内容等）	研究	4月10日	
3	研究内容・計画の確定・部会研究①	研究	4月17日	
4	I C T学習会，部会研究②	I C T部会	5月15日	
5	Q-Uの分析と今後の取り組み	研究	5月29日	
	市「確かな学力」育成プロジェクト講演会①		6月19日	
	T V会議システムを活用した交流授業	1年	6月 日	
6	N R Tの結果分析と今後の対策	各教科担当	7月10日	
	ブロック交流研①		8月 7日	
7	研究授業案検討・部会研究③	研究・授業者	9月11日	
8	授業案検討・一人一実践について	研究・授業者	9月25日	
9	一人一実践授業案づくり（個人研究）	各自	10月 2日	
	市プロジェクト授業研究・学習会		10月11日	
10	（一人一実践）		10月23日	
	ブロック交流研究②中学	研究・授業者	11月 6日	
11	研究授業と研究会（仮）	研究・授業者	11月 日	○
12	T V会議システムを活用した交流授業	3年	11月 日	
13	Q-Uの分析と今後の取り組み	研究	11月13日	
14	（一人一実践）		11月 日	
15	（一人一実践）		12月 4日	
	市プロジェクト講演会③		12月 6日	
16	T V会議システムを活用した交流授業	2年	12月11日	
17	一実践まとめ	研究	1月15日	
	市プロジェクト講演会④		1月22日	
18	研究紀要について	研究	1月29日	
	ブロック交流研究会③小学		2月19日	
19	研究のまとめと来年度に向けて	研究	2月26日	
	（予備日）		3月 4日	